

【表紙】

【提出書類】	訂正発行登録書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2022年9月22日
【会社名】	日本ハム株式会社
【英訳名】	NH Foods Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 畑 佳 秀
【本店の所在の場所】	大阪府大阪市北区梅田二丁目4番9号
【電話番号】	大阪(06) 7525局3042番
【事務連絡者氏名】	執行役員経理財務部長 長 谷 川 佳 孝
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区大崎二丁目1番1号
【電話番号】	東京(03) 4555局8051番
【事務連絡者氏名】	執行役員経営企画本部経営企画部長 藤 原 寛 英
【発行登録の対象とした募集有価証券の種類】	社債
【発行登録書の提出日】	2021年9月3日
【発行登録書の効力発生日】	2021年9月11日
【発行登録書の有効期限】	2023年9月10日
【発行登録番号】	3 - 関東 1
【発行予定額又は発行残高の上限】	発行予定額 50,000百万円
【発行可能額】	50,000百万円 (50,000百万円) (注) 発行可能額は、券面総額又は振替社債の総額の合計額(下段()書きは、発行価額の総額の合計額)に基づき算出しております。
【効力停止期間】	この訂正発行登録書の提出による発行登録の効力停止期間は、2022年9月22日(提出日)であります。
【提出理由】	2021年9月3日に提出した発行登録書の記載事項中、「第一部 証券情報 第1 募集要項」の記載について訂正を必要とするためおよび「募集又は売出しに関する特別記載事項」を追加するため、本訂正発行登録書を提出します。
【縦覧に供する場所】	日本ハム株式会社東京支社 (東京都品川区大崎二丁目1番1号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

【訂正内容】

第一部【証券情報】

第1【募集要項】

<日本ハム株式会社第15回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）（愛称：北海道日本ハムファイターズボンド）に関する情報>

1【新規発行社債】

（訂正前）

未定

（訂正後）

本発行登録の発行予定額のうち、金20,000百万円を社債総額とする日本ハム株式会社第15回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）（以下「本社債」という。）（愛称：北海道日本ハムファイターズボンド）を利率年0.30%～年0.50%の範囲内（需要状況を勘案した上で、2022年10月7日に決定する予定であります。）で、下記の概要にて発行する予定であります。なお、財務上の特約として、担保提供制限、担付切換条項および特定資産の留保条項等を特約する予定であります。

各社債の金額	: 金100万円
発行価格	: 各社債の金額100円につき金100円
利払日	: 毎年4月21日および10月21日（初回利払日：2023年4月21日）
申込期間	: 2022年10月11日から2022年10月20日まで
払込期日	: 2022年10月21日
償還期限	: 2027年10月21日（5年債）
償還金額	: 各社債の金額100円につき金100円

（注）信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付

(1) 株式会社格付投資情報センター（以下「R&I」という。）

本社債について、当社はR&IからA（シングルA）の信用格付を2022年10月7日付で取得する予定である。

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定どおりに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見である。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではない。R&Iの信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではない。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、またはその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていない。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じているが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではない。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがある。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがある。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付または保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあ

る。

一般に投資にあたって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られている。

本社債の申込期間中に本社債に関してR & Iが公表する情報へのリンク先は、R & Iのホームページ (<https://www.r-i.co.jp/rating/index.html>) の「格付アクション・コメント」および同コーナー右下の「一覧はこちら」をクリックして表示されるレポート検索画面に掲載される予定である。なお、システム障害等何らかの事情により情報を入手することができない可能性がある。その場合の連絡先は以下のとおり。

R & I : 電話番号 03-6273-7471

(2) 株式会社日本格付研究所 (以下「JCR」という。)

本社債について、当社はJCRからA+ (シングルAプラス) の信用格付を2022年10月7日付で取得する予定である。

JCRの信用格付は、格付対象となる債務について約定どおり履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。

JCRの信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、JCRの信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。JCRの信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。

JCRの信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、JCRの信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。

本社債の申込期間中に本社債に関してJCRが公表する情報へのリンク先は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「ニュースリリース」右端「一覧を見る」をクリックして表示される「ニュースリリース」 (<https://www.jcr.co.jp/release/>) に掲載される予定である。なお、システム障害等何らかの事情により情報を入手することができない可能性がある。その場合の連絡先は以下のとおり。

JCR : 電話番号 03-3544-7013

2【社債の引受け及び社債管理の委託】

(訂正前)

未定

(訂正後)

社債の引受け

本社債を取得させる際の引受金融商品取引業者は、次の者を予定しております。

引受人の氏名又は名称	住所
野村證券株式会社	東京都中央区日本橋一丁目13番1号
みずほ証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目5番1号
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目9番2号
大和証券株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
岡三証券株式会社	東京都中央区日本橋一丁目17番6号
株式会社SBI証券	東京都港区六本木一丁目6番1号

(注) 各引受人の引受金額、引受けの条件については、利率の決定日に決定する予定であります。

社債管理の委託

本社債の社債管理者は、次の者を予定しております。

社債管理者の名称	住所
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内一丁目1番2号
株式会社百十四銀行	香川県高松市亀井町5番地の1

(注) 委託の条件については、利率の決定日に決定する予定であります。

3【新規発行による手取金の使途】

(1)【新規発行による手取金の額】

(訂正前)

未定

(訂正後)

本社債の払込金額の総額20,000百万円(発行諸費用の概算額は未定)

(2)【手取金の使途】

(訂正前)

設備投資資金、運転資金、借入返済資金、社債償還資金、短期社債償還資金、関係会社への投融資資金に充当する予定であります。

(訂正後)

設備投資資金、運転資金、借入返済資金、社債償還資金、短期社債償還資金、関係会社への投融資資金に充当する予定であります。

本社債の手取金については、新球場「ES CON FIELD HOKKAIDO (エスコン フィールド HOKKAIDO)」を保有する当社の連結子会社である株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメントへの投融資資金に充当する予定であります。

なお、株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメントは、当該投融資資金を新球場の建設に関する支出に今後充当する予定であります。

また、実際の充当時期までは、現金又は現金同等物にて管理する予定です。

新球場「ES CON FIELD HOKKAIDO (エスコン フィールド HOKKAIDO)」は、単なる野球場ではなく、地域社会に根差し各種ステークホルダーと共に創造する「北海道のシンボルとなる空間」の構築を目指し、2023年春に開業を予定しています。

本新球場は北海道民・市民・ファンの皆様が愛着と誇りを持てる空間となると同時に、持続的に成長する“まちづくり”の実現に寄与することを視野に入れております。

一方で、本新球場は災害時には避難場所として開放する予定でその社会的価値も兼ね備え、さらに新球場そのものが省エネ・省資源の環境負荷低減型となっていることも大きな特長の1つとなっています。これらの取組が評価され、DBJ Green Building 認証(注)において5つ星を取得しました。

(注)「DBJ Green Building 認証」とは、株式会社日本政策投資銀行(DBJ)が、独自に開発した総合スコアリングモデルを利用し、環境・社会への配慮がなされた不動産(Green Building)を対象に、5段階の評価ランク(1つ星～5つ星)に基づき評価する認証制度をいいます。

【募集又は売出しに関する特別記載事項】

<日本ハム株式会社第15回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）（愛称：北海道日本ハムファイターズボンド）に関する情報>

サステナビリティボンドとしての適格性について

当社は、本社債についてサステナビリティボンドの発行のために国際資本市場協会（以下「ICMA」という。）の「サステナビリティボンド・ガイドライン（Sustainability Bond Guidelines）2018年版」（注1）および環境省の「グリーンボンドガイドライン2020年版」（注2）に則したサステナビリティファイナンス・フレームワークを策定し、サステイナリティクスよりセカンドオピニオンを取得しております。

（注1）「サステナビリティボンド・ガイドライン（Sustainability Bond Guidelines）2018年版」とは、ICMAにより策定されているサステナビリティボンドの発行に係るガイドラインをいい、以下「サステナビリティボンド・ガイドライン」といいます。

（注2）「グリーンボンドガイドライン2020年版」とは、グリーンボンド原則との整合性に配慮しつつ、市場関係者の実務担当者がグリーンボンドに関する具体的対応を検討する際に参考とし得る、具体的対応の例や我が国の特性に即した解釈を示すことで、グリーンボンドを国内でさらに普及させることを目的に、環境省が2017年3月に策定・公表し、2020年3月に改訂したガイドラインをいいます。

サステナビリティファイナンス・フレームワークについて

当社は、サステナビリティファイナンスの調達を目的として、ICMAのサステナビリティボンド・ガイドラインおよび環境省のグリーンボンドガイドライン2020年版に適合するサステナビリティファイナンス・フレームワークを以下のとおり策定しました。

1．調達資金の用途

サステナビリティファイナンスで調達された資金は、以下の適格クライテリアを満たす「HOKKAIDO BALL PARK F VILLAGE(北海道ボールパーク F ビレッジ)」の新球場（ES CON FIELD HOKKAIDO（エスコン フィールド HOKKAIDO））建設に関する支出またはリファイナンスに充当する予定です。

	適格カテゴリー	適格クライテリア
グリーンプロジェクト	グリーンビルディング	DBJ Green Building 認証における5つ星
ソーシャルプロジェクト	必要不可欠なサービスへのアクセス向上	(受益層) 障がい者・高齢者 ・多機能トイレ ・車いす利用者専用駐車場 ・車いす用の観戦スペース ・盲導犬との同伴観戦スペース ・スロープ ・3 塁側ゲート大階段のエスカレーター (受益層) 自然災害の罹災者 ・備蓄倉庫 (受益層) 若年層の弱者グループ ・子供向け無料遊具 ・多機能トイレ ・スロープ (受益層) 外国人等のマイノリティ ・都市公園内における案内板の多言語表記

2. プロジェクトの評価と選定のプロセス

対象事業の評価と選定のプロセスについては、当社の経理財務部が適格クライテリアに適合していることを確認し、経理財務部の担当役員が最終決定を行います。

3. 調達資金の管理

サステナビリティファイナンスにより調達した資金は、償還されるまでの間、当社の経理財務部にて内部管理システム・帳票等を用いて年次で充当状況を管理します。なお、調達資金の充当が決定されるまでの間、現金または現金同等物にて管理する予定です。

4. レポーティング

調達資金の全額が充当されるまでの間、年に一回、充当状況を当社ウェブサイト上（「ニッポンハムグループ統合報告書」等）で開示します。調達資金の充当後に資金状況の大きな変化が発生した場合には、調達資金の充当状況を示すレポートを当社のウェブサイト上にて適宜公表します。

資金充当状況のレポーティング

- ・ 充当金額
- ・ 未充当金の残高
- ・ 調達資金のうちファイナンスに充当された部分の概算額（または割合）

インパクトレポーティング

調達資金の全額が充当されるまでの間、守秘義務の範囲内、かつ、合理的に実行可能な限りにおいて、年に一回、以下の情報を当社ウェブサイト上（「ニッポンハムグループ統合報告書」等）で開示します。

	適格カテゴリー	環境改善効果および社会改善効果
グリーンプロジェクト	グリーンビルディング	(建設期間中) ・認証取得手続きの進捗状況 (竣工後) ・環境認証の一覧 ・エネルギー使用量 ・CO2 排出量 ・水使用量
ソーシャルプロジェクト	必要不可欠なサービスへのアクセス向上	・車いす利用者専用駐車場の設置規模 ・多機能トイレの設置数 ・車いす用の観戦スペース規模 ・盲導犬との同伴観戦スペース規模 ・スロープの設置数 ・3 塁側ゲート大階段のエスカレーターの設置数 ・備蓄倉庫における非常食等の備蓄量 ・子供向け無料遊具の設置数 ・都市公園内における多言語表記案内板の設置数